

灯火親しむ（とうかしたしむ）

秋の夜長に灯をともして読書にふけること。世間では「食欲の秋」とばかりに食べることに熱中しがちですね。紅葉の風景も楽しめますし、気分がしっとりしてくるのが「秋」です。いきなり寒い冬にならないでゆっくりと楽しむ時間を与えて頂ける日本という国土は、なんてありがたいものかと思います。みなさんも積極的に秋を楽しみましょう。私は「食欲」に走らず、読書を通じて豊かな気分になりたいなあと思います。

● 日本の国は変わるのか？

「いい家」の条件に、まず、日当たりが良いこと、そして、風が通ることが何より大切であるそうです。

8 月の総選挙で半世紀にわたる自民党支配が終わりました。なにやら徳川時代にも似た安定的な雰囲気から、いきなり民主党という「風」が、日本という閉めきった「家」に吹き込んできたように感じます。やっとな風が通るようになったわけです。

野球のルールでは、必ず攻撃の回、守備の回が平等にあるわけですから、自民党もしばらく野党としてがんばる、国民に喜ばれる政治を行えるようみんなで知恵をしぼる、そうなると、民主党も真剣にがんばらないといけなくなる。今回の交代で、国民も政治家も真剣になれるのではないかと思います。

私たちが「政権交代を選んだ」という自己責任があるわけで、国民として、無気力、非協力ではいけないですね。自分の国をより良くするために、政府に不平不満、要求ばかりするのではなくて、自分たちも、我慢できることは我慢し、努力していくべきではないでしょうか。

これは、私の個人的な意見であります。

日本の国が、戦後滅びることなく、それよりも世界中の人が驚くぐらいに繁栄できたのはなぜか、それは世界各国の「お陰さま」があったからだと思います。資源のない日本が生きていくためには、世界中の人が喜んでくれる良いものをせっせつと作るしかなかった。その良いものを世界中の国が買ってくれたからこそ繁栄できたわけですね。だからこそ、繁栄のきっかけを与えてくれた国々に「お陰さま」でもってお返しをしていくことが、これからの日本の在り方だと思うのです。

戦争をしている国があったら、無益なことだからやめましようと言いたい。お腹を空かしている人あれば、食べ物を分け、自活できるよう農業技術を伝え。病人が沢山いるところには薬を運び、病院を建てる。寒さに震える人あれば、暖かい服を届ける。日本にできることは惜しみなく与える「お陰さま」外交です。損も、得もない、ただただ、困っている人々のために働かせていただく、心ない人に「でくのぼう」と批判されても、ただニコニコ笑って働く日本。これが私の理想なのです。

競争 ではなく 共創 の世界になりますように

マネーゲームはもう終わり、搾取する時代から、奉仕する（与える時代）になる。

学歴、学閥社会はもう終わり 実力の時代になる。（戦前までは、家柄尊重の社会、戦後は学歴尊重の社会でした。）

能力は、点数ではなく 人間力で評価されるようになる。（リーダーシップをとれる人、コツコツ裏方の仕事ができる人、トラブルを円満に解決できる人、そのままの自分が社会に貢献できる。）

ブランドの時代はもう終わり、本物の時代になる。（価格ではなく、価値で選ばれるようになる。人を喜ばせることができるか、できないか、で評価される。）
これも理想ですが。

● 仏さまの教えを実践しましょう

すべては自分にふさわしい

仏さまのお言葉です。

すべてがあなたにふさわしい。

今のあなたに 今の夫がふさわしい。

今のあなたに 今の妻がふさわしい。

今のあなたに 今の子供がふさわしい。

今のあなたに 今の親がふさわしい。

今のあなたに 今の兄弟がふさわしい。

今のあなたに 今の友人がふさわしい。

今のあなたに 今の仕事がふさわしい。

死ぬ日も あなたにふさわしい。

すべてが あなたに ふさわしい。

私たちが「イライラするとき」は、「自分の思うようにならないとき」にイライラします。(この法則は誰もが知っていることなのですが)

その原因、理由は「相手を、自分の思うようにしたいから」となります。つい、先日のことですが、高速道路を走っていた時のこと。2車線の左側を、実にマイペースで(60km位でしょうか)悠々と走っている車がありました。交通量の多い時分でしたので車は数珠つなぎになってしまいました。このとき私は「イライラ」しました。でも、先頭のマイペースの運転手はきっと「イライラ」していません。その時、私はスイッチを切り替えます。「今の状況を受け入れまーす」と。

自分がどれだけイライラしたところで、状況(相手)は変わらない、ということですね。「すべてが 今の私にふさわしい」

イライラしているときは、「他者を責めるか」「自分をせめるか」のどちらかです。

現在(今)のすべてを受け入れる

過去のすべてを受け入れる

未来のすべてを受け入れる

5分前のことでさえ、もう「過去世」のことです。「今」の次の瞬間はすぐに「今」になります。「過去世」からの「自分の思い」が「現在」を呼び寄せた、ということになります。だから、悔み続けることが、「今の自分」を苦しめてしまう。他者を責め続けることが自分から笑顔を隠してしまう。だから、

きっぱりと あきらめましょう

「あきらめる」というと、否定的に受け止めがちですが、「諦める」とは「見極める、実現できないことと認める」ことです。

私は、人工調味料や添加物を含んだ食物は絶対に食べない、という自然食主義の人でも、災害や飢饉になったとき、カップラーメンしか食べられないという状況になったとしたら、「あきらめる」しかないですよね。(餓死しても食べないと「あきらめない」選択もできますが)

ガンになりやすい人の傾向として、しょっちゅうイライラ怒っている人、ガンコな人、ガンバリすぎる人が多い、ということがわかってきたそうです。「あきらめますか?」「あきらめませんか?」

「すべてが自分にふさわしい ありがたいなあ」

過去、現在のすべてを受け入れて、感謝できる、喜べる人には、それにふさわしい未来が訪れます。「今」も愚痴ってイライラしている人にも、それにふさわしい未来が訪れます。

俊栄 拝